



# たらま

平成 27 年  
12 月号  
平成 27 年 12 月 1 日 発行  
No. 501

発行/多良間村役場・編集/総務財政課広報係 〒906-0692 宮古郡多良間村字仲筋 99-2 ☎0980-79-2011



## 皆が集う!



the most beautiful  
villages  
in japan

多良間村は、  
39番目の

**「日本で最も美しい村」**

連合に加盟  
しています。

# 多良間神社祭

去る11月、多良間神社において氏子や村役場、関係機関・村民多数が参加し、神社のまつりごとを司るニサイガツサの下、参加者らが合掌した。

村民を代表して伊良皆光夫村長が祈詞を述べ、参加者全員で土原豊見親頌徳歌と数え歌を合唱した。

神社には明治36年11月に植えた「福木」があり、その福木が大木となり天高くそびえている。また「数え歌」は木版に書かれ奉納されている。

多良間神社は土原豊見親を祀る神社で、豊見親は15世紀に出現。アマガ一村、パリマ村、フタツガー村など島の諸勢力を統一し、点在していた集落を現在の位置に統合した郷土開拓の先駆者である。豊見親は尚真王から多良間島主に命ぜられ島の政治力に力を注いだ。また豊見親は運城御嶽・泊御嶽を創設して民心の強化に努めた。

今年も氏子らにより、大いに盛り上がった神社祭であった。参加者は、50年ぶりに余興が復活できて感動であると感じていた。その昔、神社祭では児童生徒らも参加し、また各区からは余興を持ち寄り、大勢の参加があったという。来年の神社祭は児童生徒らの参列を望みたい。

次に「数え歌」を掲載

(明治35年 進藤 栄氏 作詞)

- 一つとや 人々羨む土原の 土原の 豊見親の手柄はいと高し 末栄え
- 二つとや 不義の族を平らげて 平らげて 民の憂いを救いたり 末栄え
- 三つとや 三つ四つ社を建てしより 建ていより 民の心はおさまれり 末栄え
- 四つとや 与那国せめのありしおり ありしより 多良間の豊見親と 仰ぎけり 末栄え
- 五つとや いっしか枝葉の栄えきて 栄えきて 今は豊見親の皆子孫 末栄え
- 六つとや 昔もおろか今もなお 今もなお 豊見親の恵はいと深し 末栄え
- 七つとや 永く手柄を伝へんと 伝へんと 社を建てて仰ぐべし 末栄え
- 八つとや やがて建つべき学校は 学校は 豊見親の恵と皆思へ 末栄え
- 九つとや 心に信じて薙ぎ倒す 薙ぎ倒す 神木に一人のけがもなし 末栄え
- 十とや 偕に仰げよ土原の 土原の 豊見親は島の守り神 末栄え



祈詞を述べる伊良皆村長! 中学校生徒会も参加!



参加者全員で歌を!



氏子らが二才おどりを披露

# 「防風林の日」多良間で開催



百年後を目指して植樹!

講演会は琉球大学の仲間勇  
栄名誉教授は、「琉球王朝時代  
の風水配置とフクギ林の造成」  
と題し講演。また、植樹大会で  
は、関係機関や多良間小学校の

苗作りなども頑張っている」と呼びかけた。

伊良皆光夫村長は、「多良間  
島は丸ごと防風林に囲まれて  
おり、先人たちの台風や防災に  
対する教えが今も受け継がれ  
ている。本日の防風林の日を機  
に植えた苗を皆で大事に育て、  
苗作りなども頑張っている」と

再確認し、「防災農業」を推進し  
ていくとした。

同会議は、多良間村シルバー  
人材センター（垣花栄代表）の  
暴風・防風林等の育樹活動を高  
く評価し表彰した。頻繁に来る  
台風や自然災害等から農作物  
を守る暴風、防風林の重要性を

11月の第4木曜日に、沖縄県  
防災農業推進会議（新崎弘光会  
長）はフクギ植樹のイベントを  
多良間村で開催。村コミュニ  
ティ施設を主会場に防災農業  
表彰式や講演会を開催。また野  
外では、アカズ原ため池の周囲  
では植樹（フクギ）大会が行わ  
れた。



多良間小学校「緑の少年団」

4年〜6年生計37人が参加し  
フクギの苗を丁寧植えた。  
集落内や御嶽などには、樹齢  
300年の巨大（ジャンジャラ  
ギー）フクギが天高くそびえ  
ている。また宮良集落内にはフク  
ギに囲まれた屋敷跡が幾筆も  
残っている。この貴重なフクギ  
林を先人たちの遺産として守  
り受け継いでいきたい。

多良間村駅伝大会 大道区の小中学生チーム15年ぶり優勝

去る11月、第48回多良間村駅伝競走大会が小学校グラウンドを発着点とするコースで行われた。一般7区間(30キ)、小・中学生7区間(16・5キ)で争われ、小中学生の部で大道区が15年ぶりの優勝を果たした。一般の部では5連覇の大木区Aが優勝した。結果は次の通り。

小・中学校の部(区間賞)

- 優勝=大道チーム:1時間 5分20秒
- 準優勝=大木チーム:1時間 6分46秒
- 3位=嶺間チーム:1時間15分13秒
- 1区(1.5\*<sub>0</sub>) 美里 鳴海(天川区) 6分 2秒
- 2区(1\*<sub>0</sub>) 本村 琴美(嶺間区) 4分 5秒
- 3区(2\*<sub>0</sub>) 美里 純也(大道区) 7分19秒
- 4区(3\*<sub>0</sub>) 本村 雄飛(嶺間区) 10分6秒(区間新)
- 5区(2\*<sub>0</sub>) 外間あゆむ(大木区) 9分 7秒
- 6区(3\*<sub>0</sub>) 豊見山優也(大木区) 11分12秒
- 7区(4\*<sub>0</sub>) 親里 来椰(吉川区) 14分19秒

一般の部(区間賞)

- 優勝=大木Aチーム:2時間15分04秒
- 準優勝=津川チーム:2時間25分45秒
- 3位=大道チーム:2時間27分28秒
- 1区(5\*<sub>0</sub>) 島袋 雅也(大木区) 21分53秒
- 2区(3\*<sub>0</sub>) 玉城 剛(大木区) 13分10秒
- 3区(2\*<sub>0</sub>) 糸洲 利沙(大道区) 9分13秒
- 4区(4\*<sub>0</sub>) 野原 賢一(大木区) 17分17秒(区間新)
- 5区(8\*<sub>0</sub>) 野原 康弘(大木区) 33分27秒
- 6区(3\*<sub>0</sub>) 豊見山常竜(大木区) 13分23秒
- 7区(5\*<sub>0</sub>) 柳岡秀二郎(大木区) 19分59秒



[アガイ、カーシャ頼んだヨ]



一般スタート!



小中学生チームスタート!



大道区、下地選手。大健闘!



第37回 宮古地区小・中学校音楽発表会

第37回宮古地区 小・中学校音楽発表会

多良間小学校(森田正人校長)2年、3年生17名が、第37回宮古地区小中学校音楽発表会において、見事、優秀賞に輝き、多良間っ子は「Change!」チェンジという曲を合唱した。

これまで、学習発表会や第1回コミュニケーションまつりなどで発表、披露するなど、歌に自信を持っていた。(指揮:福原理恵子教諭)

# たらま花ブレンド茶

たらま花(紅花)保存会(佐久本洋子代表)では、「たらま花ブレンド茶」を製造、販売へこぎつけた。

ブレンド茶は原材料が、たらま花、ノニ、グアバ、くみすくちん、レモングラス、月桃、ドラゴンフルーツピールをブレンドした1袋25g。お湯をそそぐと紅の色がうかび、レモングラスや月桃のほのかな香りが鼻をツンとし、なんとも心と体が癒される。

たらま花は「村花」としてのシンボルでもある。保存会では村全家庭へたらま花の苗を配布したり、普及増産につとめている。また花は「紅」の染料として古代から使用され、葉草としても暮らしの中で使われてきた貴重な花。沖縄では昔から、「タラマバナ」と呼ばれ伝えられてきている。

この紅花は地中海沿岸地方から西アジアが原産と言われる1年〜2年草木で、50〜100cmに成長し、あざみに似た花を咲かせる。



# 年賀はがきを活用

## 手紙文化の振興で寄贈



手紙文化の趣旨を理解し賛同頂いた企業より、多良間村内の幼小中学校の児童生徒に、たくさんの方々の年賀はがきの寄贈がありました。

「年賀はがき」が寄贈されることにより、「お返事」等のやり取りの拡大につながり、日本の手紙文化・心の交流の拡大に繋がることと思います。

(寄贈された企業の皆様ありがとうございます。ございました)

- ・幼・小・中学校へはがきを寄贈した企業
- ・株式会社 塊心(知念吉信) 150枚
- ・株式会社 共伸電気(西平一秀) 150枚
- ・株式会社 糸数興業(糸数英行) 150枚
- ・株式会社 新光産業(高江洲昭男) 150枚
- ・パセオ建築設計室(荷川取勝彦) 150枚

# 航空運賃の還付について

小児、離島出身高校生、お体の不自由な方が、還付手続きを役場で行うと、これまでの離島割引からさらにお安くなります。これまで利用している離島割引で乗った飛行機の半券を還付請求に添付して手続きをすると支払った料金の一部が還付されます。

★小児(宮古⇄那覇) → 離島割で購入の場合 片道**1,800円** 小児普通運賃で購入の場合 片道**3,550円**  
\*小児運賃多良間⇄宮古区間の還付はございませんのでご注意ください。

★高校生(宮古⇄多良間) → 片道**600円** \*高校生のみ宮古発着でも離島割引が適用されます。

★お体の不自由な方(多良間⇄宮古) → 片道**150円**の還付があります。

申請に必要な物 ①搭乗半券もしくは搭乗証明書 ②振込口座番号 ③印鑑

※請求できる期間は、利用した年度の翌年度4月6日までです。ご注意ください。

例:平成27年4月〜平成28年3月利用分 → 平成28年4月6日



お問い合わせ:多良間村役場 総務財政課 ☎0980-79-2011

## ふるさと納税 寄附金のお礼

**高村 真様** (東京都三鷹市在)  
村長にお任せコースで二万円のご寄附がありました。  
**水沢 千秋様** (東京都新宿区)  
村長にお任せコースで十万円のご寄附がありました。  
有難うございました。

「ふるさと納税寄附金」制度が導入されたのは2008年度。多良間村にゆかりのある方、多良間村を「心のふるさと」と思って頂ける方に「ふるさと納税寄附金」を通じて多良間村を応援して頂くものです。

### ★寄附金の事業区分は次の通り

- ①教育関係コース
- ②産業振興関係コース
- ③自然環境関係コース
- ④村長にお任せコース

宮古島警察署からのお知らせ

# 特殊詐欺・狙われているアナタのお金

## 1. 特殊詐欺とは

特殊詐欺とは、これまで被害の多かった振込め詐欺に、金融商品等取引名目詐欺、ギャンブル必勝法詐欺、異性との交際あっせん詐欺などを加えた総称を言います。

### \*振込め詐欺

- オレオレ詐欺…親族や警察官、弁護士などを装って、会社のトラブル解決や交通事故の示談金名目などで現金を振込ませる詐欺
- 架空請求詐欺…架空の事実を口実とした料金を請求する詐欺
- 融資保険金詐欺…実際には融資しないにもかかわらず、融資を申し込んできた者に対して、保証金を振込ませる詐欺
- 還付金詐欺…官公庁等の職員をかたり、税金や医療費の還付に必要な手続きを装って、被害者の知らないうちに現金を振込ませる詐欺

## 2. 宮古島警察管内・平成27年11月10日現在の特殊詐欺認知状況

- (1) 架空請求詐欺 認知件数 1件 被害額 約300万円
- (2) 還付金等詐欺 認知件数 2件 被害額 90万円

## 3. 被害に遭わないために

特殊詐欺については、現金を振込ませる以外にも、郵便、宅配便を送らせる方法や手渡しなどもあります。すぐに現金を振込んだり、送ったりせず、警察や家族に相談することが大事です。

### \*こんなやりとりは詐欺

- 電話でのお金の話しは詐欺
- 電話で話しながらATMを操作させるのは詐欺
- 「宅配便で現金送れ」は詐欺
- 「誰にも言うな」も詐欺

相談&お問い合わせ 宮古島警察署 ☎72-0110

# 保健師からのお知らせ

年の瀬を迎え、慌ただしい日々が続いていますが皆様はいかがお過ごしでしょうか。

多良間村では毎年今の時期にインフルエンザの予防接種を実施しています。今年は3回実施しましたが、接種はお済みでしょうか。

沖縄では通年報告されているインフルエンザですが、12月から3月頃が流行しやすい期間と言われています。まずは予防が重要ですが、感染してからの対応についても今のうちから確認しておいて下さい。流行期には診療所は対応に追われますので、皆様のご協力をお願いします。

## インフルエンザの症状

- 急な高熱(一般の風邪は喉や鼻に初期症状が現れることが多い)
  - 寒気 ●頭痛 ●関節痛 ●筋肉痛
- ※必ずしも当てはまらない場合があります。

## 重症化や合併症を引き起こす可能性の高い人(要注意)

- 喘息等の慢性の呼吸器疾患のある人
- 心疾患のある人 ●糖尿病の人 ●免疫不全のある人
- 妊娠中の人 ●高齢者や小児

## 予防方法

- 人ごみを避ける ●手洗い、うがいをする
- 適度な温度(20度以上)、湿度(60%以上)を保つ
- 栄養と休養を十分とる ●マスクの着用

インフルエンザに感染したら早めの受診が大切ですが、必ず診療所に電話をして指示に従って受診するようにして下さい。



# 放送大学4月入学生募集

放送大学ではテレビ等の放送やインターネットで授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で、幅広い世代の方が学んでいます。ただいま平成28年4月入学生を募集しています。詳しい資料を送付致しますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

## 募集学生の種類

- 教養学部
  - 科目履修生 (6ヶ月在学し、希望する科目を履修)
  - 選科履修生 (1年間在学し、希望する科目を履修)
  - 全科履修生 (4年以上在学し、卒業をめざす)
- 大学院
  - 修士科目生 (6ヶ月在学し、希望する科目を履修)
  - 修士選科生 (1年間在学し、希望する科目を履修)

## 出願期間

平成27年12月1日～平成28年2月29日、3月1日～3月20日  
(インターネットでの出願も受け付けております。)

## 資料請求(無料)・お問い合わせ

〒903-0129  
沖縄県西原町字千原1番地(琉球大学地域国際学習センター棟4・5)  
放送大学沖縄学習センター TEL:0980-895-5952  
放送大学ホームページ <http://www.ouj.ac.jp>

多良間駐在所だより



# 特殊詐欺にご注意を

近年オレオレ詐欺などの特殊詐欺が増えてきていますが、沖縄本島はもとより、宮古島や八重山でも被害が増えてきています。

被害に遭う方は高齢者がその大半を占め、また、一人暮らしの方が多く被害に遭っています。この多良間島でも不審な電話が確認されていますので、不審な電話があった場合は多良間駐在所まで連絡をお願いします。

多良間駐在所：比嘉利昌 ☎79-2010

## ～運転免許高齢者講習会について～

去る11月25日に多良間村コミュニティ施設において、運転免許高齢者講習を行いました。

高齢者講習とは、70歳以上の方で、運転免許の更新をする際に必要な講習をいいます。

70歳以上の多良間村に住んでいる方で運転免許を更新する予定の方は、多良間駐在所にご連絡・更新の手続きを行えば、次回の高齢者講習まで運転免許の有効期限を延ばすことが可能です。

※宮古島まで行かないでも更新できます。

高齢者講習や運転免許更新のハガキが届いた方は、多良間駐在所に御来所をお願いします。

# 村長のたうけーむぬゆむ。(ひとりごと)

祝いの席や季節の行事、職場でのコミュニケーションなど、私たちの生活に酒は欠かせない。楽しいお酒は人との親睦を深め、くらしを豊かにしてくれる。適度であれば長生きをもたらすともいわれている。しかし、適度のたががはずれば、お金を湯水のように使い始め体には危険信号がともる。そして何より、目には見えない「心」に異常をきたす。

年末年始、この時季は、どうしても胃や肝臓を酷使する。暴饮暴食に一利もない、と分かっていてもつい飲み過ぎ・食べ過ぎてしまう。自戒もこめて「正しいお酒の飲み方5か条」をまとめてみた。

その一「自分の体質にあった適量を『知る』」

飲み過ぎないことは鉄則だが、自分に合った量を知ることが最も大切。酒の影響が体に表れてくるのは飲み始めてから30分から1時間後といわれており、酒の初心者には最初の1時間、少しずつアルコールを摂取しながら、自分の体調の変化を見極め、1時間当たりに飲める自分の適量を知るようにしよう。

その二「酒は『いち銘柄』に飲み方を『変えて楽しむ』」

複数の酒を一度に飲むと酔いやすいのはよく知られているが、同じ種類の酒でも銘柄を変えると酔いやすくなることはあまり知られていない。銘柄が違うと成分も若干異なるため、アルコール分解機能をもつ肝臓に負担がかかりやすい。翌日に残したくない飲み方は、お湯わり、水わり、で一つの銘柄に決めて飲むのが良いとされている。

その三「大量の水がポイント、飲んだアルコール以上の量を摂取」

アルコールは肝臓で分解されるが、その過程で大量の水が必要。飲んだアルコール量以上の水を摂るようにしよう。泡盛やウイスキーは水で割って飲むが、日本酒やワインを飲む際も、チェイサーを同時に準備。「飲み過ぎたな」と思ったら寝る前に水を大量に摂るのも効果的だという。

その四「酒の温度に注意、常温かお湯割りで」

人間は、舌の温度(約摂氏35度)に近いほど、味を感じることができ。酒も常温より少し温かい程度が、最も味わいを感じられる状態だといふ。また、冷えすぎた酒は内臓を冷やすことにもつながり体に負担がかかる。お湯割りは香りも強く、飲み過ぎ防止効果にもなる。常温の酒を

常温の水やお湯で割って飲むのが良いとされる。

その五「高タンパクの食事と組み合わせる」

食事をしながら飲むのは、酔いすぎないための基本。肝臓のエネルギー源はタンパク質なので、高タンパクの食事(肉料理、魚料理、卵料理、豆類など)をとりながら飲むのが良いとされる。

これら5つの教えを守れば、翌朝「だるい」「つら〜い」なんて言いながら、仕事を休んだり遅刻したり、といったことがなくなるかと間違いない。早速実行して、酒を通じいろいろな人とのコミュニケーションを、心置きなく楽しむようにしよう。

どうぞ「少災多幸」の年末年始を。



金本

編集後記

一年を振り返り

今年一年を振り返ると、成人式、一年間の安全・安心・無災害を願う消防団の出初め式、村主催の新春の集いと、慌ただしい年始。

●畜産に関して、1月の初セリでは子牛最高666千円と高値取引で先行き希望が見えた。その後のセリでは、オスで60万円台、メスで50万円台と右肩上がりである。また、村では特定家畜伝染病(口蹄疫)実働演習が行われ、県や村、各農家、JAらが参加した。

●4月は、コミュニティー施設の落成祝賀会があり、村民多数、関係機関が参加しお祝いできた。これからも村民「皆が集う」場になってほしい!

●沖繩本島から帰郷のさい、村社会福祉協議会(萌木の里)において、郷友の本村博司夫妻がカラオケ愛好会を率いて慰問した。また、新しいコミュニティー施設のこけら落としでは、民謡歌手「仲本勝子」さんが「生まれ島に思いを馳せて」コンサートをした。

●3月、平成26年度事業の浮き桟橋が前泊港に完成。前泊港は潮位の変化によって、船舶の乗り降りや貨物の運搬作業に支障をきたしていた。今後は物資の積み下し、特に漁の成果である魚・海産物の荷上げを目的として設置された。

●3月、水納島に避難タワーが完成。島の海拔は7M、3階建て(11M)の津波避難施設ができ、まずまず安心である。また、コミュニティー施設の屋上は津波災害による一時避難所として利用できる。

●県中体連空手道、「波平空大」君が優勝!中学校総合体育大会が県立武道館で開催、多良間中学校3年の波平君が男子の部個人形で初優勝!みごと全国大会(香川県)へ沖繩県代表の切符を手にした。また、全日本少年少女空手道選手権大会で多良間小学校1年の「野原 隼」さんが、1年女子形の部でみごと5位入賞した。高校生等も負けていない、村出身の宮古高校2年の「垣花美羽」さん、真和志高校2年の「伊良皆理絵」さんがウエイトリフティングで頑張っている。

●多良間空港内に島の良さをPRするビデオを設置。村観光振興課は空港内の出発待合室に観光用ピーアールビデオを設置した。ビデオでは村の「八月踊り」「スツウプナカ」やイベント・美しい海や自然、史跡、文化財などを放映し紹介している。今後、定期的に新しく編集し島を紹介していく。

●去る9月末に台風21号が襲来!50日余雨が降らず干ばつ状態であった。恵の雨を期待していた。しかし、雨量が少ないうえ塩害を残して去った。村は工場・多良間島三協トラック事業組合と塩害対策会議を行い、サトウキビにかん水することを決め、10月1日〜7日までかん水作業を行った。実績としてかん水希望農家申込みが118件、トラック680台で6800トがかん水された。今後、干ばつや塩害その他の災害等の対策に10トタンク10基を稼働させ、農家の生産向上に期待したい。

●今年新しく完成したコミュニティー施設において、島では久しぶりの結婚披露宴があった。また、嬉しいことは続き、11月22日(いい夫婦

の日)に村職員が入籍した。入籍後に役場玄関のシャッターが上がった。外では、同僚や友人・知人らが役場前へ集合!初めてのサプライズ劇があった。平成27年もめでたし!めでたし!

てるけん



11月

世帯数と人口 (平成27年11月末現在)		
総世帯数	525 ( 1)	
総人口	1,198 ( 1)	
男	642	女 556
区別	人口	世帯数
土原	66 ( 0)	31 ( 0)
天川	94 ( 0)	39 ( 0)
津川	107 ( 0)	52 ( 0)
宮良	69 ( 0)	30 ( 0)
嶺間	149 ( 2)	66 ( 1)
大木	192 (-1)	93 ( 0)
大木	297 ( 1)	123 ( 0)
吉川	219 (-1)	87 ( 0)
水納	5 ( 0)	4 ( 1)
出生	1	死亡 0
転入	1	転出 1

( )内は前月比

誕生 宇塩川 佐和田 雅洋・寿美香さんの二女 袖姫ちゃん 平成27年11月5日

緊急ダイヤル	
火災・救急 ワンクッションコール	119番
警察官派出所 (79-2010)	110番
急病人 多良間診療所	79-2101
歯科診療所医師	79-2162
停電 沖縄電力多良間営業所	79-2147
断水 役場住民福祉課	79-2623
家畜疾病 役場産業経済課	79-2503
ガス専用JA多良間	090-6859-2355

## 救急に関すること (11月)

- ◆時間外救急受付 11件
  - ◆救急車出動 0件
  - ◆ヘリ搬送 0件
- 火災・救急ワンクッションコール：  
119
- ※緊急の場合以外診療時間内での受診を心がけよう

## 11月牛セリ結果 (平成27年11月19日実施)

◇全体

区分	去勢	牝	合計
上場頭数	68	63	131
成立頭数	68	63	131
成立(%)	100	100	100
販売価格(円)	45,863,280	33,486,480	79,349,760

◇12ヶ月以内

区分	去勢	牝
あたり頭	最高	632,880円
	最低	328,320円
平均体重	261kg	247kg
平均価格	674,460円	531,531円

119番から始まる命のリレー～住む人、訪れる人の安心・安全のために～

# 「多良間村」火事・救急・救助・ワンクッションコールは「119番へ」 「センター119」運用が開始されました。

＊火事や急病、けが人が発生した場合の緊急連絡先が変わりました。

### ★沖縄県消防指令センターの概要

沖縄県消防通信指令施設運営協議会とは、多良間村を含む36市町村で構成された電話通報「119番」を広域的にあつかう消防指令センターの上部組織です。平成27年11月から沖縄県消防指令センター「センター119」の一部運用の開始となりました。

沖縄県消防指令センターは、嘉手納町のニライ消防本部内に設置され、36市町村の救急や火事などの「119番」通報を一括で受付し、通報者への口頭指導や、診療所・消防等への関係機関へ連絡し迅速に対応することが可能な重要な施設となります。

### ★運用が開始になりました。

1. 急患や緊急時の通報先「119」へ変わりました。
2. 沖縄県消防指令センターから、村内の役場担当(救急)、診療所、駐在への連絡が迅速になる。
3. 口頭指導により通報者が処置対応している時に、役場担当(救急)が到着し処置対応を代わることで、少しでも多くの傷病者が助かる確率がある。



# 第18回「楽しく走ろう 歴史が見える島 たらま島」 たらま島一周マラソン大会

